

【9月のテーマ】 手賀沼のサギのなかま

案内人：望月みずき（鳥の博物館学芸員）
湯瀬一栄（鳥の博物館市民スタッフ）



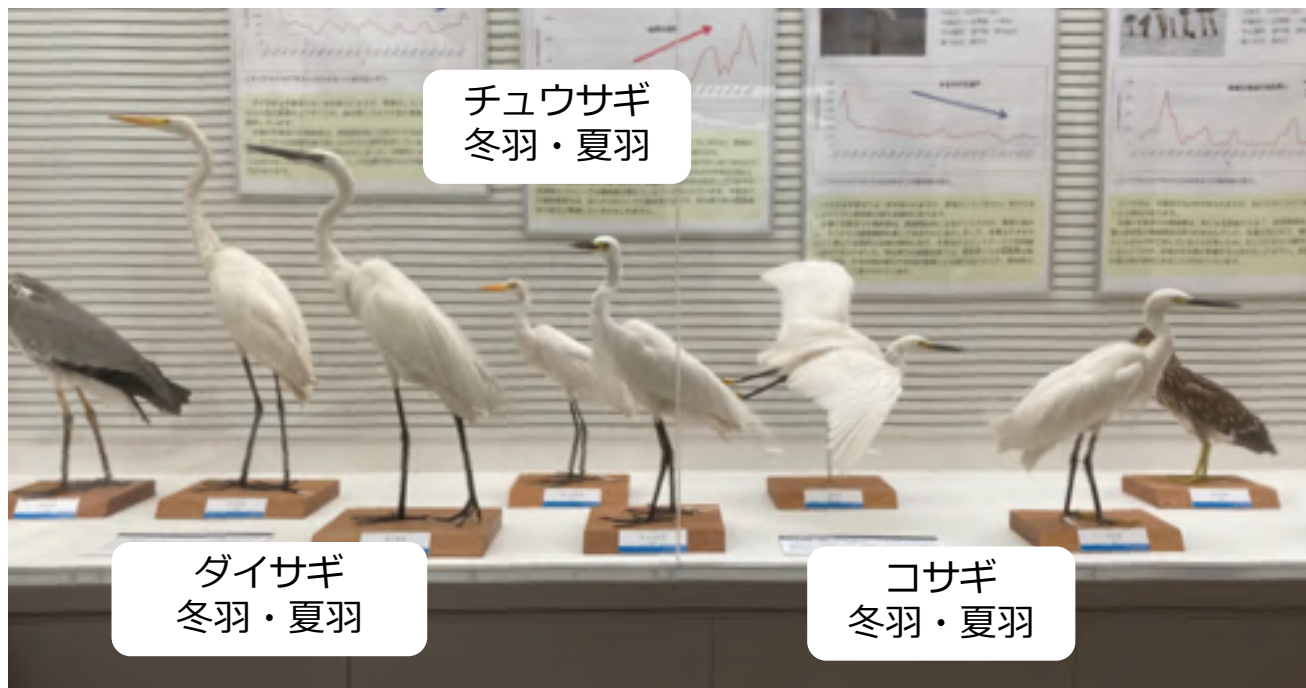
▲翼を半開きにして日光浴をするアオサギ。

手賀沼では様々なサギのなかまを見ることができます。水辺での生活に適した体のしくみや、繁殖期にだけ生えてくる飾り羽など、サギの見所はたくさんあります。一見同じように見えるサギでも、食べ物や生息する環境などは異なります。それぞれのサギがどんな生活をしているのか、観察してみましょう。

2022年9月10日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

手賀沼で見られる白いサギたち



▲博物館2階で開催中の企画展「手賀沼の鳥」ではサギを一度に見比べることができます。夏と冬の飾り羽の違いや、各種の大きさ、くちばしの色などに注目してみましょう。

サギの体に注目！

ふんめんろう

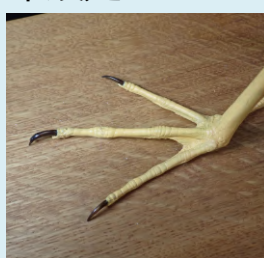
粉綿羽



サギは胸や足の付け根などに粉綿羽が生えている。粉綿羽の粉を全身に塗ることで汚れが付きにくくなる効果がある。

はんぼくそく

半蹼足



第三指と第四指の間に蹼(みずかき)が少しだけある足。湿地を歩くのに適している。サギや一部のシギなどが持つ。

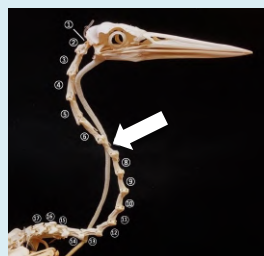
くしづめ

櫛爪



サギの第三指の爪はくし状になっている。この爪は羽づくろいの際に粉綿羽の粉を塗るのに役立つと考えられている。

首の骨



サギ類は約17個の首の骨を持つ。途中で短い骨があることで、首をコンパクトに曲げることができる。